ＩＮＦＯ－ＨＩＲＯ－２１

第４５６号　２０１８年９月３日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

電子顕微鏡における断面試料作製法セミナー開催のお知らせ

弘前大学機器分析センターでは，電子顕微鏡観察のための試料作製法に関するセミナーを開催します。

現在，当センターには，透過型電子顕微鏡（JEM-2100）及び電界放出型走査電子顕微鏡（JSM-7000F，JED-2300F）が設置され，皆様に広く利用されています。

本セミナーでは，試料作製の基礎から最新技術にいたるまで専門家にわかりやすく解説いただきますので，日頃から電子顕微鏡をお使いの方，試料作製における疑問やお困りの点がある方，また試料作製にご興味がある方は，この機会にぜひご参加いただきますようお願いいたします。

1．日　時　　平成30年9月26日（水）10:30～12:00
2．場　所　　弘前大学理工学部2号館2階11番講義室
3．講　師　　日本電子株式会社　EP事業部　鈴木俊明　様
4．演　題　　断面試料作製法の基礎から最新技術まで
　　～電子顕微鏡にてより良いデータを得るために～
5．対　象　　教職員，学生，一般の方
6．参加費　　無料
7．申込み　　9月25日（火）までに，①所属，②氏名，③役職，④電話番号を添えて下記担当までお申込みください。
　　座席に余裕がある場合は，当日参加も歓迎します。
8．担　当　　研究推進課　機器分析センター担当
　　TEL：0172-39-3913　E-mail：kiki@hirosaki-u.ac.jp

介助技術体験セミナー開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室では下記の日程で「介助技術体験セミナー」を開催します。

病気やけがあるいは身体障害により歩行や車椅子等での移動に困難を伴う学生や来校者が，学内での授業や行事等に困難なく参加するためには，施設整備に加えて学生や教職員による人的支援も必要です。

セミナーでは，視覚障害者の歩行誘導と車椅子利用者の移動介助の技術を学びます。歩行・移動を支援する技術は社会においても大いに役立つ技術です。ぜひこの機会に，多くの学生・教職員の皆さんの参加をお待ちしています。

記

◇日　時：　平成30年9月26日（水）13：00～15：45

◇場　所：　総合教育棟2階　205講義室
◇対　象：　本学の学生および教職員
◇内　容：　13：00～14：30
　　第一部「視覚障害者に対する歩行誘導」
　　14：45～15：45
　　第二部「車椅子の操作と移動介助」
◇参加費：　無料
◇申込み：　所属，学籍番号，氏名を明記の上，
　　9月21日（金）までに下記アドレスへメールでお申込みください。
◇申込先：　弘前大学学生特別支援室
　　ＴＥＬ　：0172-39-3266
　　E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

第20回家庭でできる看護ケア教室開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院看護部主催で，市民の方を対象に，第20回家庭でできる看護ケア教室を開催します。
毎年テーマを替えて開催しており，今回のテーマは，「家庭でできる初期対応」です。
家庭で具合が悪くなった時，街で認知症と思われる人に出会った時に，あわてずに対応する方法を学びます。
たくさんのご参加をお待ちいたしております。

1．日　　時　：　平成30年10月5日（金）13：30～16：00

2．場　　所　：　弘前大学医学部附属病院 看護部研修室

3．募集人員　：　市民の方30名（先着順）

4．参 加 費　：　無料

5．申込期間　：　平成30年9月10日（月）～10月1日（月）
　　平日　8:30～17:00

6．申 込 先　：　弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター
　　TEL　0172－39－5337　担当：木村　淑子

「第１８回青森糖質研究会」開催のお知らせ

「青森糖質研究会」は，青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上，さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し，産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど，諸活動を続けております。
平成30年度は「糖質が握る未来の扉を開く鍵」をテーマに4講演が行われます。

1．日時：　平成30年10月5日（金）13：30～17：00
　　（受付開始12:30～）

2．会場：　弘前大学創立60周年記念会館　コラボ弘大　8階
　　八甲田ホール（ホールA&B）
　　（〒036-8560　青森県弘前市文京町3番地）

3．対象：一般市民，弘前大学学生・大学院生・教職員，多数の参加をお待ちしております。

4．講演：13：35～16：55

1．「天然糖質による神経難病への応用」　　丹治 邦和（弘前大学 大学院医学研究科）

2．「合成化学的手法による機能性糖質材料の開発－食品からウイルス検出プローブまでー」
尾形 慎（福島工業高等専門学校）

3．「地域多糖資源の素材化研究」　　徳安 健（農業・食品産業技術総合研究機構）

4．「酵母がつくる機能性糖質エリスリトール～浸透圧ストレス応答とポリオール生成～」
春見 隆文(一般財団法人日本醤油技術センター)

5．参加費： 無料

6．主催：青森糖質研究会（会長　加藤 陽治）
共催：ひろさき産学官連携フォーラム，日本応用糖質科学会東北支部
後援：（公財）水谷糖質科学振興財団

7．申込方法：下記問い合わせ先へお申し込みください。＊当日参加も可

8．ＵＲＬ：http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm

※研究会終了後（17：30～19：30），弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階 八甲田ホール（ホールC）にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。
（会費　一般：3,000円，学生：1,000円　）

問い合わせ先：　青森糖質研究会事務局
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内　担当：柿崎 育子
電話　　：0172－39－5542　　E-mail　：kaki@hirosaki-u.ac.jp

保健学研究科　被ばく医療人材育成推進委員会主催　第3回放射線看護セミナー

「放射線の基礎を臨床実践へ活かす！」開催のお知らせ

本研究科では，平成27 年4 月より「放射線看護高度看護実践コース」を博士前期課程に開設，教育を開始し，平成29 年2 月には日本看護系大学協議会からCNS の放射線看護専攻教育課程の認定を受けました。放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし，放射線診療，被ばく医療看護に関して高度な看護実践ができる人材育成を目指しております。また，放射線看護に関する様々な教育支援も行っております。

近年，放射線を用いる検査及び治療はますます高度化・専門分化し，放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。看護師は臨床の様々な場で放射線診療を受ける患者の看護に携わっていますが，看護基礎教育や卒業後の継続教育においても，放射線に関する学習の機会は多くはありません。第3 回となる今回のセミナーでは，放射線看護に携わる看護師のために放射線の基礎を分かりやすく解説するとともに，放射線診療の中でもIVRにおける看護師の役割について理解を深めることを目的としています。放射線看護高度看護実践コースについても紹介します。

1. 日　時：　平成30年10月6日（土）　13時30分～16時10分（質疑応答を含む）

2. 場　所：　東京工業大学キャンパスイノベーションセンター（CIC東京）1階　国際会議室
（東京都港区芝浦3-3-6）

3. テーマ：　「放射線の基礎を臨床実践へ活かす！」

4. 対　象：　放射線看護に興味・関心のある医療職者（先着80 名程度）
※申込先着順で定員に達し次第，申し込み受付終了とさせていただきます。

5. プログラム：
13:30～13:35　開会の挨拶
13:35～14:35　教育講演1　●「知って得する放射線の基礎」
弘前大学大学院保健学研究科 助教　辻口　貴清 先生
14:35～14:45　休憩
14:45～15:45　教育講演2　●「IVRにおける看護実践」
埼玉医科大学国際医療センター　中澤　賢　先生
15:45～16:00　放射線看護高度看護実践コースの教育について
弘前大学大学院保健学研究科 教授　井瀧　千恵子 先生
16:00～16:10　閉会の挨拶

6. 参加費：　無料

7. 申し込み方法：　E メールによる事前申し込みとなります。
●下記ＵＲＬから申し込み手続きを行ってください。
・被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP　http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/
・お申し込み先メールアドレス：　hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

8. 申し込み締切：　平成30年9月25日（火）

9. 主　催：　弘前大学大学院保健学研究科　被ばく医療人材育成推進委員会

10. お問い合わせ先：　弘前大学大学院保健学研究科　総務グループ（担当：柏村）
電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912
E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度 弘前大学大学院保健学研究科

市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ

足は万病のもとといいます。スポーツでけがをしては，せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで，昨年に引き続いて，足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説明します。また，足の健康について実際に足部計測して相談にのります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【日　時】平成30年10月20日（土）10：00～11：30

【場　所】弘前大学50周年記念会館 岩木ホールAB（弘前市文京町1）

【対　象】一般市民，スポーツ指導者，運動部員，保護者等

【参加費】無料（事前申し込み不要）

【内　容】
講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」
講師：弘前大学大学院保健学研究科 教授　尾田　敦氏
足の健康相談コーナー

【主　催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科総務グループ
〒036-8564　青森県弘前市本町66-1　TEL：0172-39-5905　E-mail：jm5905@hirosaki-u.ac.jp

「第20回　青森継続看護研究会」のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科 地域保健医療教育研究センター 多職種連携推進部門では，「精神障がいを持つ人との共生社会の実現を目指した現状と課題」をメインテーマとした教育講演及びシンポジウムを下記のとおり開催いたします。どなたでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

1．日　　時：　平成30年9月17日（月・祝）　13：00～17：00

2．会　　場：　弘前大学医学部保健学科　　第33講義室

3．参 加 費：　無料（事前申し込みは不要です）

4．プログラム：
○教育講演
「精神障がい者を地域で支える～看護師の役割と看看連携・多機関多職種連携～」
講師：東　美奈子　氏
（訪問看護ステーションRelisa/相談支援事業所
一般社団法人日本精神看護協会 代表理事 副会長）

座長：木立 るり子 氏　（弘前大学大学院保健学研究科 教授）

○シンポジウム「精神障がい者の生活を支える」
ファシリテーター：則包 和也 氏（弘前大学大学院保健学研究科　講師）
シンポジスト：
根本 俊雄 氏（サンネット青森 代表）
盛 由美子 氏（愛成会病院 在宅生活支援センター 副所長）
工藤 弥生 氏（弘前保健所 主幹）
三浦 暢子 氏（地域生活支援センターぴあす 所長）

※この事業は，公益社団法人青森医学振興会の助成を受けて開催します。

【問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科　山田基矢
TEL：0172-39-5951 FAX：0172-39-5908 E-mail：yama3010@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」，保健学研究科 市民公開講座

『医療のいろは・放射線は道しるべ』開催のお知らせ（再掲）

放射線画像診断は，身体の外から体内へ
アプローチする道しるべ
放射線診療はあなたの健康を守る道しるべ
放射線治療は，未来をひらく道しるべ
歯みがきは，未来の健康への道しるべ

この度『医療のいろは・放射線は道しるべ』をテーマに市民公開講座を開催いたします。
事前の申し込みは不要ですので，参加を希望される方は，当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日　時：2018年10月19日（金）17時30分～19時00分
2. 会　場：弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール
3. テーマ：『医療のいろは・放射線は道しるべ』
4. 内　容：講演1　「子供の歯を守るために。」
　　細川 洋一郎 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）
　　講演2　「知っておくと役に立つ放射線検査の基礎知識
　　～切らずに体の中が見える訳～」
　　齋藤 陽子 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）
5. 入場料：無料
6. 対　象：一般市民・学生
7. 問合せ：弘前大学大学院保健学研究科総務グループ（電話0172-39-5905）

※本事業は「国立大学フェスタ2018」（http://www.janu.jp/univ/festa/）に参加しています。

「北東北女性研究者 研究・交流フェア2018」開催のお知らせ（再掲）

「北東北女性研究者 研究・交流フェア2018」がいわて県民情報交流センター(アイーナ)（岩手県盛岡市）で開催されます。この事業は，本学も参画している文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の一環として開催されるものです。

北東北地域における女性研究者の研究活動の活性化，女性研究者間や企業等との相互交流，ネットワーク活動の実現化を図ることを目的とし，共同研究発表の他，研究リーダー力向上支援セミナーやランチタイム交流会も行われます。ぜひご参加ください。

日　　時：平成30年9月19日(水) 10：30～16：00

場　　所：いわて県民情報交流センター(アイーナ) 7階 小田島組☆ほ～る(岩手県盛岡市)

対　　象：本事業連携機関及び参加機関の他，関係機関，企業等の女性研究者･技術者･大学院生テーマに関心のある方など
※性別，分野を問わず参加できます。※当日無料託児有り(申込締切9月12日(水)12時)

参 加 費：無料（申込締切9月12日(水)）※当日参加も受付けます。

内　　容：
○10：35～11：35　共同研究概要発表タイム
○11：50～13：00　ランチタイム交流会
○13：30～13：40　オープニングセレモニー
○13：40～14：40　研究リーダー力向上支援セミナー
講師：鷹野　景子　氏（お茶の水女子大学教授，元副学長）
「キャリアアップを目指す上で求められるリーダー力とは
―　女性研究者活動支援事業の経験から　―」
○14：50～15：55 ポスターセッション
○16:00～クロージングセレモニー

主　　催：岩手大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議
共　　催：あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク
いわて女性研究者支援ネットワーク

申込み・問合せ先：岩手大学男女共同参画推進室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
E-mail: equality@iwate-u.ac.jp
Tel: 019-621-6998　Fax: 019-621-6999

男女共同参画シンポジウム「大学のダイバーシティ推進と人材育成―産業界からの期待」

開催のお知らせ（再掲）

北東北国立3大学（秋田大学・岩手大学・弘前大学）の連携による，より一層の男女共同参画の推進を図るために，男女共同参画シンポジウムを開催します。本シンポジウムは，各大学の取組について学内外に情報発信するとともに3大学に共通する課題を明らかにし，解決策をともに考える場として平成22年度から3大学が持ち回りで開催しているものです。
弘前大学が主催校となる今年度は，大学におけるダイバーシティ推進に係る最近の政策や議論の動向等を踏まえ，「大学のダイバーシティ推進と人材育成―産業界からの期待」をテーマとして開催します。参加は無料です。是非ご参加ください。

日　　時：平成30年9月21日（金）14:00～16:00
場　　所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大8階　八甲田ホール
対　　象：北東北国立3大学の教職員・学生，地域の大学・研究機関・
企業等の関係者，地域の方々 等
内　　容：○14:00～14:05／開会挨拶　弘前大学　理事　石川 隆洋
○14:05～14:45／基調講演　東北経済産業局長　相樂 希美 氏
○14:45～15:05／取組報告　3大学男女共同参画推進室長
○15:05～15:40／パネルディスカッション
パネリスト　　：3大学担当理事
コメンテーター：相樂 希美 氏
モデレーター　：安川 あけみ（弘前大学男女共同参画推進室長）
○15:40～15:55／質疑応答
○15:55～16:00／次回当番校挨拶　菅原 悦子 氏(岩手大学理事)
○16:00／閉会
主　　催：弘前大学　　共　　催：秋田大学　岩手大学
後　　援：あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク，青森県

申込み・問合せ先：弘前大学男女共同参画推進室E-mail／equality@hirosaki-u.ac.jp
電話0172-39-3888／FAX 0172-39-3889
※参加申込用紙にご記入の上，9月14日(金)までにメールまたはFAXで申し込みください。
（参加申込書は推進室ホームページからダウンロードできます。）
http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/6670.html

弘前大学研究・イノベーション推進機構　学術講演会「世界を照らすＬＥＤ」のお知らせ（再掲）

学術的に著名な識者を弘前大学に招き，学術講演会を開催することで，学内教職員の研鑽意識を高めるとともに，学生にレベルの高い学習機会を提供すること，また，学外へも広く周知し，地域還元することを目的として下記のとおり弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会を開催します。
本講演会では，2014年ノーベル物理学賞受賞　名古屋大学大学院工学研究科教授　天野　浩氏をお招きして御講演いただきます。
皆様のご参加をお待ちしております。

■日　時：平成30年10月18日（木）13:30～15:00

■会　場：弘前大学創立50周年記念会館　みちのくホール（先着300名　※要申込）
■講　師：2014年ノーベル物理学賞受賞
名古屋大学大学院工学研究科教授　天野　浩　氏

■演　題：「世界を照らすＬＥＤ」

■詳　細：http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/20181018-kouenkai

■対　象：一般の方，教職員，学生

■申　込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上，
以下の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

■申込締切：平成30年10月10日（水）
（ただし，定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。）

■入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】弘前大学 研究・イノベーション推進機構
Ｔ　Ｅ　Ｌ：0172-39-3907　E-mail：kensui@hirosaki-u.ac.jp
Ｈ　　Ｐ：http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/

平成30年度　文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に，放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い，放射線を身近に分りやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日　時】　●第7回トレーナーズトレーニング平成30年10月27日(土)，28日(日)

【場　所】弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66番地1）

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のための
　　トレーナーズトレーニング」

【対　象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も
　　受講できます。（先着20 名）
※申込先着順で定員に達し次第，申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目：13時30分～18時00分（会場・受付開始／13：00）
　　≪講 義≫①放射線利用における看護職の役割
　　②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎
　　③放射線による健康影響とリスク

　　2日目：8時30分～13時00分
　　≪実 習≫①自然放射線の理解
　　放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
　　②外部被ばくに対する防護方策
　　放射線防護の基本となる事項（時間，遮蔽，距離）
　　③移動型エックス線撮影装置に対する防護方策
　　撮影現場における線量の把握
　　注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料
　　「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。
【申込方法】Ｗｅｂ参加登録　　Eメールによる事前申し込みとなります。
　　●下記ＵＲＬから申し込み手続きを行ってください。
　　公益社団法人日本アイソトープ協会　http://www.jrias.or.jp/
【主 催】公益社団法人日本アイソトープ協会

【協 賛】弘前大学大学院保健学研究科

＊本事業は，公益社団法人日本アイソトープ協会が，文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3 ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。

【お問い合わせ先】　弘前大学大学院保健学研究科　総務グループ（担当：柏村）
　　電話：0172-39-5518　E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

「日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)」開催のお知らせ（再掲）

日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)の開催をご案内します。詳しくは下記ＵＲＬをご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしております。

会　期：　平成30年11月3日(土)～11月4日(日)
会　場：　弘前大学 創立50周年記念会館
ＵＲＬ：　http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/sccj2018autumn/

研究発表主題：　・計算化学（分子軌道法，分子力学法，分子動力学法，モンテカルロ法など）
　　・理論化学（電子状態理論など）
　　・情報化学（データベース，ケモメトリックスなど）

・数理化学，コンピュータ支援化学教育，その他コンピュータ化学に関する研究

発表形式：　・口頭発表
・ポスター発表

申込み締切：　・発表申込み:　　8月17日(金)
・講演要旨原稿:　　9月18日(火)
・事前参加登録・懇親会参加予約: 9月18日(火)
申込みは上記ＵＲＬの各フォームからお願いします。

特別講演：　・石川顕一　先生（東京大学）
・長岡正隆　先生（名古屋大学）

一般公開イベント：　1日目(11月3日) 10:00～12:40開催　「科学発信!! Hirosaki」
一般，特に高校生向けに学会の一般公開・科学イベントを開催します。 計算と化学の面白さを広く知っていただけるようなデモ展示や講演などを実施します。

招待講演：「みんなのスパコンTSUBAME3.0 〝いろんなところで役立つスパコン〟」
渡邊寿雄　先生（東京工業大学）

ブース展示：　デモ展示・演示実験，高校クラブ等のポスター発表

事前の参加申込みは上記ＵＲＬのフォームからお願いします。
参加費：　無料
定　員：　80名程度
申込み締切：　10月12日(金)
※人数に余裕がある場合には当日参加を受け付けます。

主催：　日本コンピュータ化学会
共催：　日本化学会，弘前大学
協賛：　高分子学会，CBI学会，触媒学会，日本薬学会，分子科学会

お問い合わせ先：　実行委員会委員長　岡崎　功
実行委員会委員　　丹波　澄雄，宮本　量，山崎　祥平
(弘前大学大学院理工学研究科)
(tel 0172-39-3661, email sccj2018autumn@st.hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学資料館第20回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第20回企画展「大学で描く～学び，記録する学術スケッチ～」を7月30日より9月29日まで開催いたします。

学術研究のさまざまな場面で具体的な研究対象や抽象的なイメージを図に表す行為は物事を記録,理解,整理する上で重要な作業です。写真の方が手軽で客観性もあり,正確だと思われがちですが,絵を描く時には対象物をよく観察し,理解し,平面上に表現するため,正しく丁寧に描かれた図は一般的な写真より分かりやすいものです。学習効果も絶大で,学生がものを学ぶ上でスケッチは大切なトレーニングの一つです。この展示では,研究者や学生がものを描くことの意義を伝え,その技術の一端を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第20回企画展
「大学で描く～学び，記録する学術スケッチ～」

会　期：2018年7月30 日（月）～2018年9月29日（土）　（日・祝・休日は休館）

時　間：10：00～16：00
場　所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先
・弘前大学資料館
　電話：0172-39-3432　E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp
・弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター
　電話：0172-39-3707　E-mail：dhalma@hirosaki-u.ac.jp

学　内　掲　示　板

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol.7 No.2」（A4変形判・pp.65-124，定価1,188円：税込）を出版しました。

～紹介文～
弘前大学は，さまざまな原子力関連施設が立地する青森県における唯一の総合大学として，万が一の事態に際して地域の安心・安全を確保するため，被ばく医療に関連する取組みを平成20年度から推進してきており，平成27年8月には原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受けるに至りました。これに合わせて弘前大学放射線安全推進会議の下に「放射線安全総合支援センター」が設置されました。
これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicineは，第5巻1号から，より広い分野からの投稿に対応する目的で，誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。
第7巻2号には，放射線計測，放射線治療等の5報の論文に加えて，インドネシア原子力庁のMukh Syaifudin 先生，ハワイ大学マノア校健康科学＆社会福祉カレッジ看護・歯科衛生学部のLorrie C. Wong 先生，アイルランド環境保護庁放射線防護及び環境モニタリングオフィスのStephanie Long 先生による特別寄稿論文，4th Educational Symposium on Radiation and Health by Young Scientists (ESRAH2017) の報告が掲載されております。
今後も，放射線防護，線量評価，生物影響，放射線計測，被ばく医療教育，放射化学分析，放射線看護，疫学調査，臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。※本誌は英文表記となります。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は，障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ，よりよい学生生活が送れるよう支援しています。
このたび，教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。
障害等のある学生の支援に苦慮している，支援室スタッフに尋ねたいことがある，あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

日　　時：　平成30年9月27日（木）14：30～15：30（時間内は出入り自由です。）
※以降の日程は調整中です。

場　　所：　附属図書館3階　グループラーニングルーム

対　　象：　本学の教職員

参加スタッフ：室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先：弘前大学学生特別支援室
ＴＥＬ：0172－39－3266（内線3266）E-meil：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来，平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。
創立70周年に際して，国際化や男女共同参画の推進，学生支援の充実など，主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。
ついては，多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが，創立70周年記念事業を成功させるため，更なるご支援を賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。
なお，創立70周年記念事業のホームページでは，クレジットカードによる寄附も可能でございますので，ご活用いただければ幸いと存じます。

【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため，学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが，オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】　平成30年9月7日（金）15：00～17：00

【変更】　平成30年9月5日（水）15：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）ＴＥＬ：0172－39－3004
ＵＲＬ：http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では，各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では，「発見！国立大学」において，弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第49号」
http://www.janu.jp/report/koho/49gou.html

下記ＵＲＬより最新号を含め，今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。
http://www.janu.jp/report/

その他，第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において，本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。
◎担当：総務部総務広報課 広報グループ
E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029